

2

助産師の就業状況について

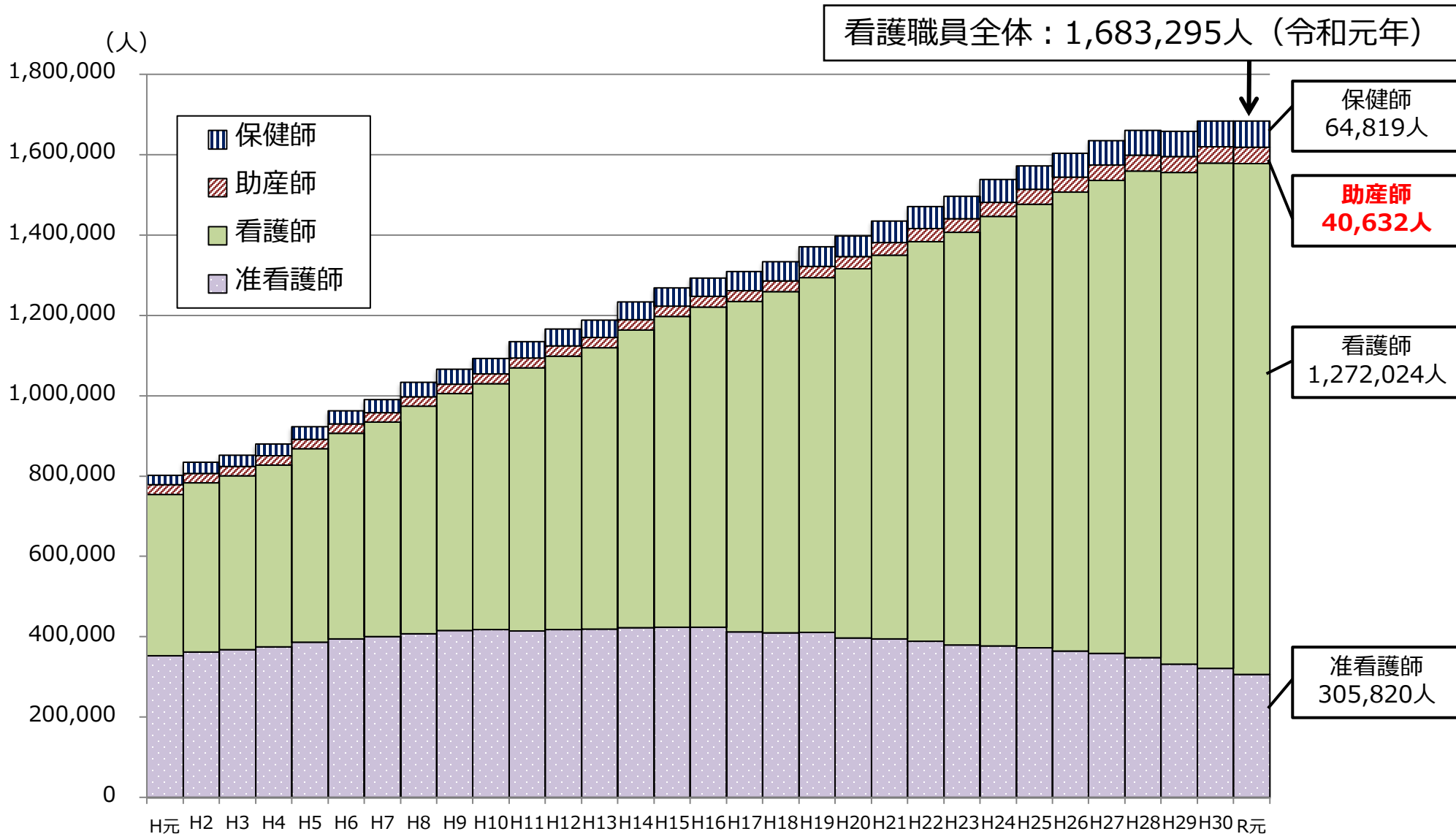
ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

看護職員就業者の推移

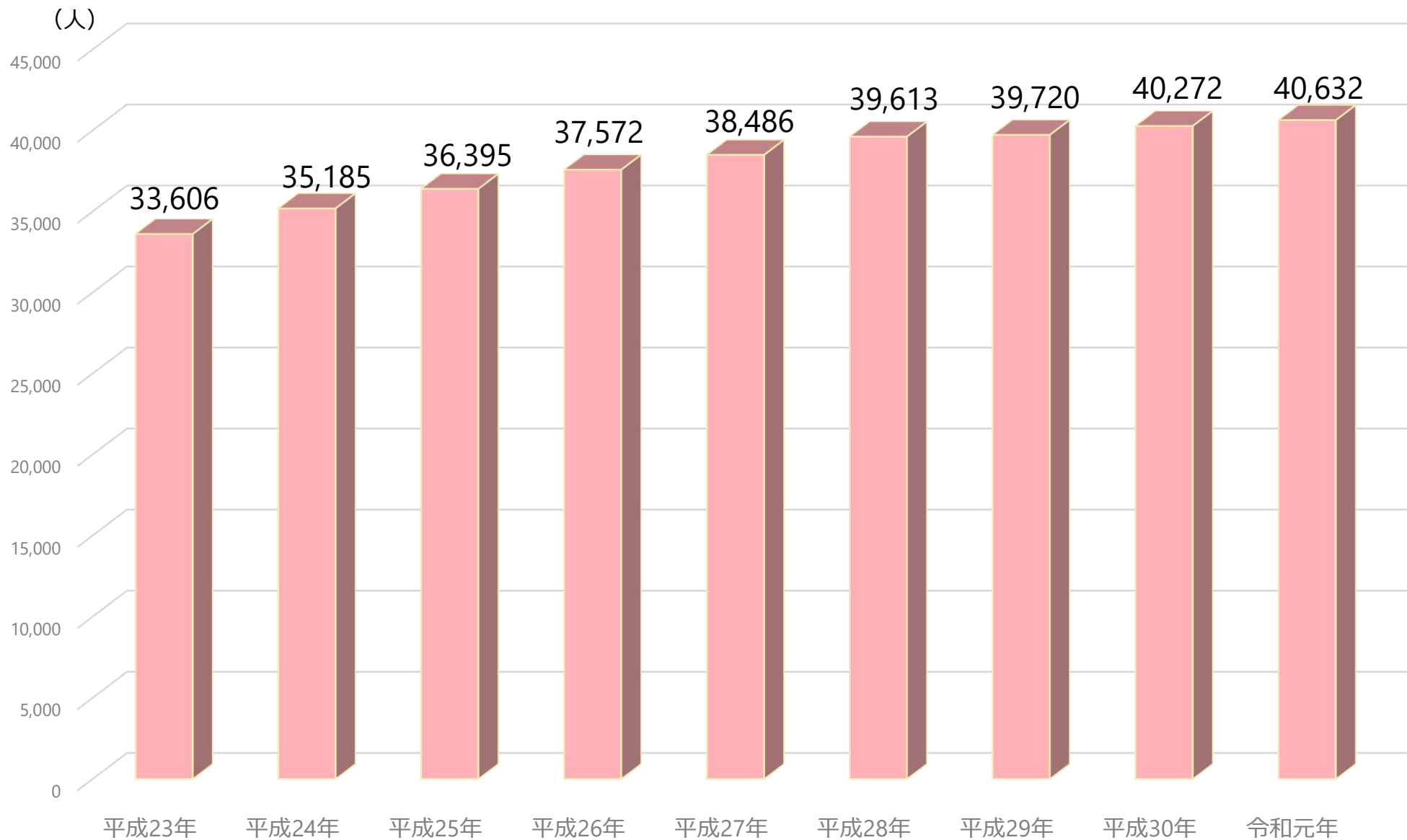
就業する看護職員数は年々増加傾向にあり、令和元年時点では約168万人となっている。



資料出所：厚生労働省医政局看護課調べ

※ 看護職員とは保健師、助産師、看護師、准看護師の総称

助産師の就業者数の推移

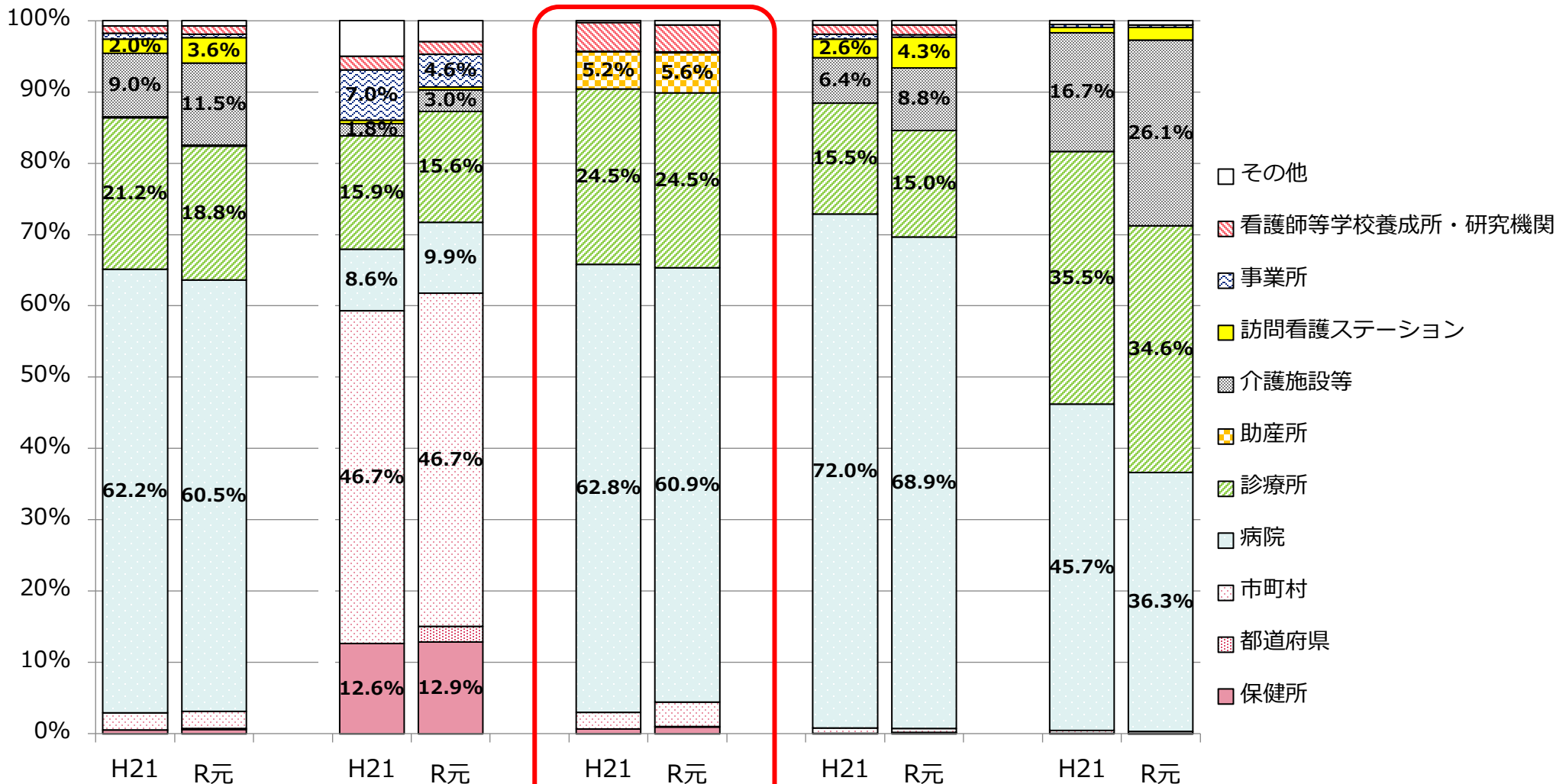


助産師免許を保有し、就業している者の就業状況

助産師免許を保有し、就業している者のうち、助産師として就業している者は69.1%、約30%は看護師もしくは保健師として就業している。

	2010年	2020年
計	44,521 (100.0%)	54,942 (100.0%)
助産師として就業	29,672 (66.6%)	37,940 (69.1%)
保健師として就業	3,698 (8.3%)	3,755 (6.8%)
看護師として就業	11,151 (25.0%)	13,247 (24.1%)

看護職員の就業場所の推移（平成21年→令和元年）



全体
1,433,772人
↓
1,683,295人

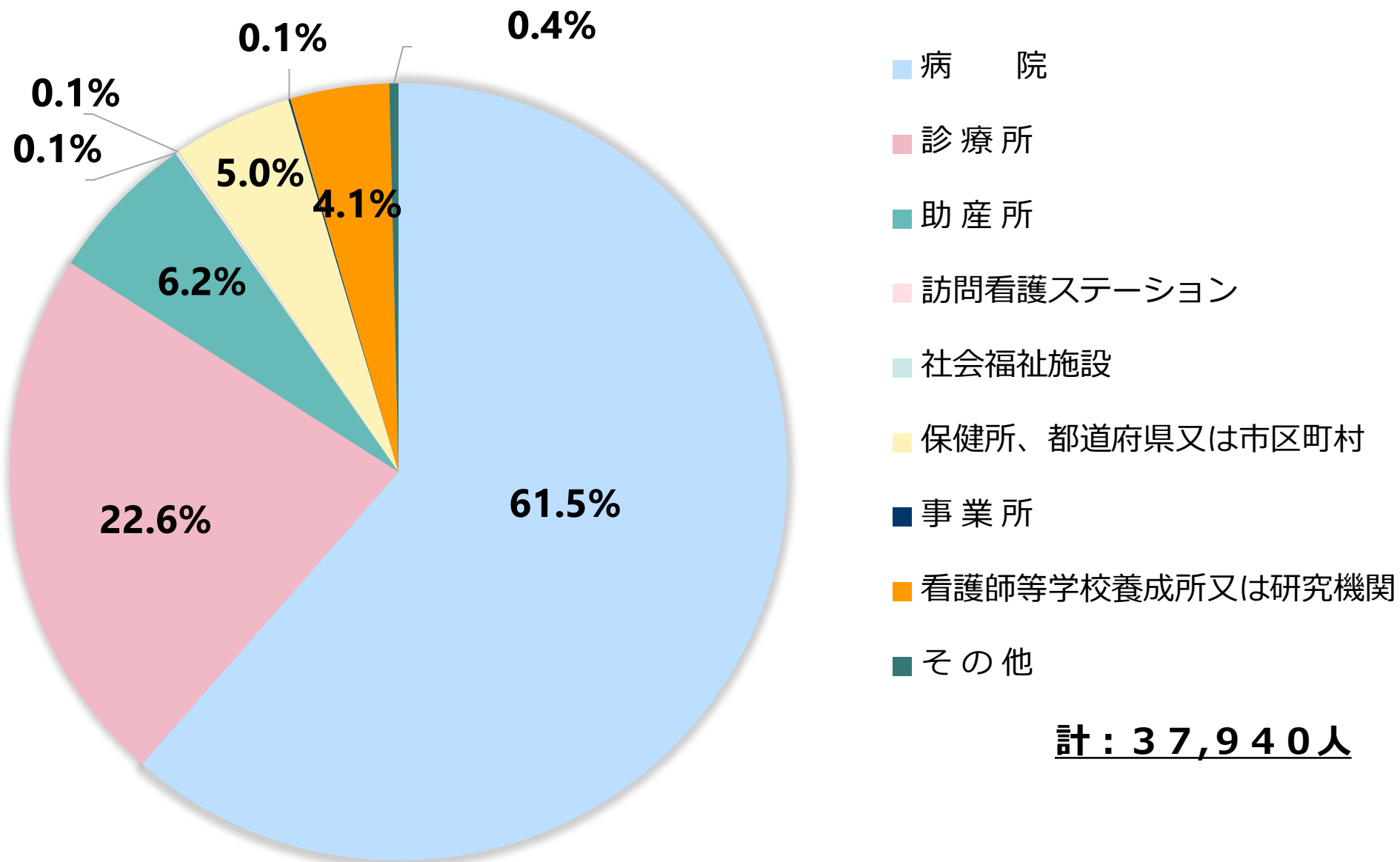
保健師
53,212人
↓
64,819人

助産師
31,312人
↓
40,632人

看護師
954,818人
↓
1,272,024人

准看護師
394,430人
↓
305,820人

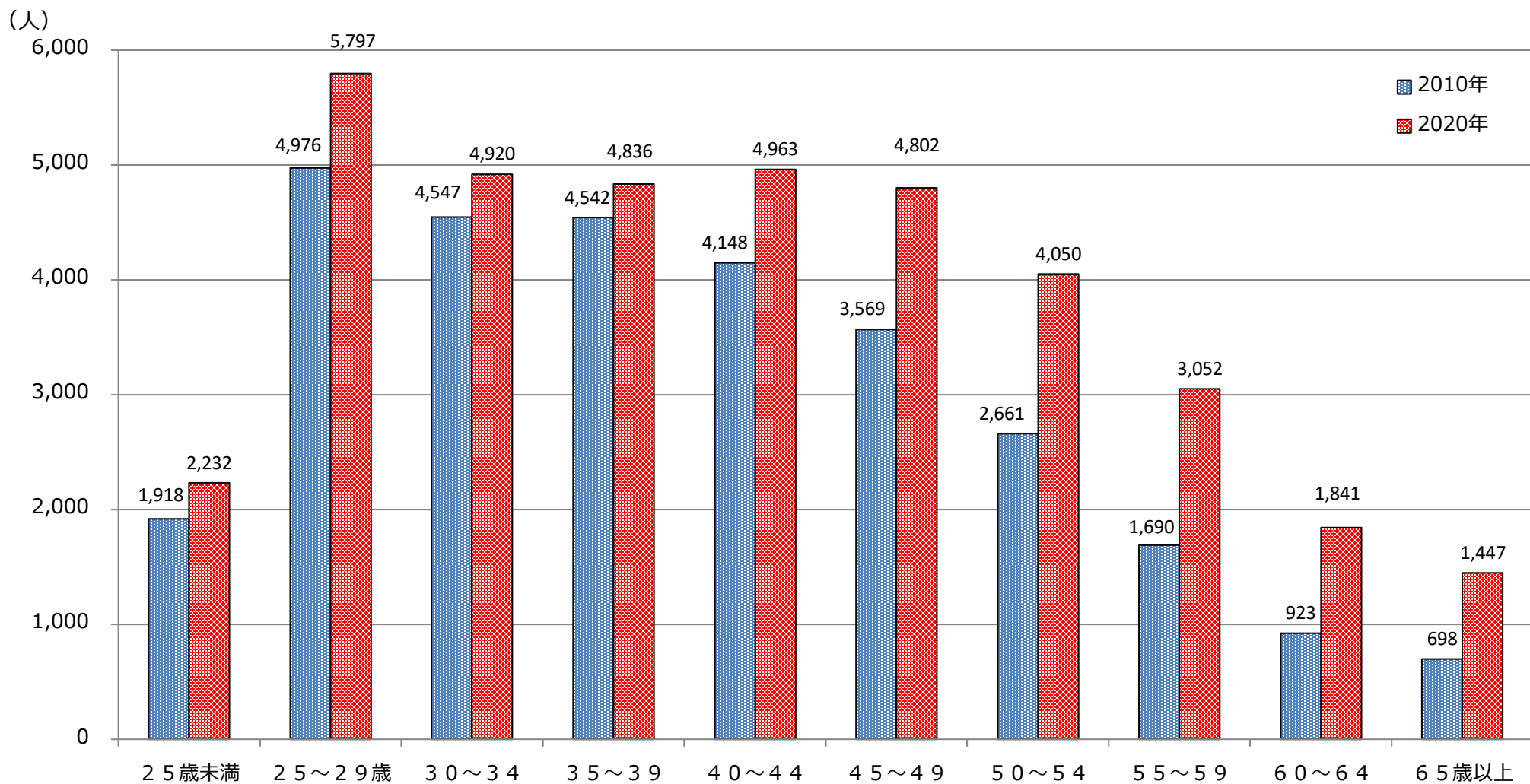
助産師就業場所別就業者数（2020年）



計：37,940人

年齢階級別就業助産師数（2010・2020年）

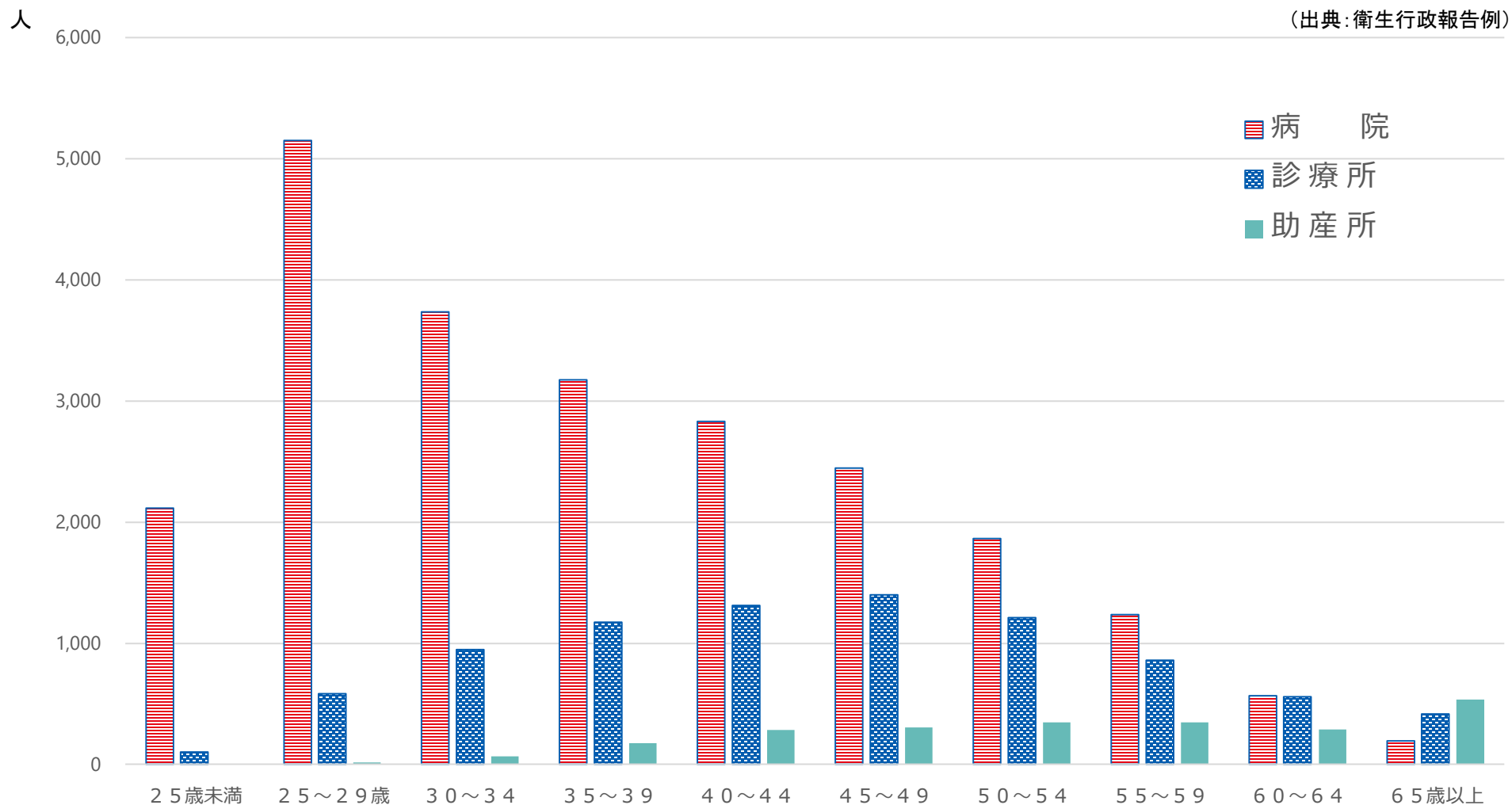
2010年と比べるとそれぞれの年齢階級で就業助産師数は増加してきている。



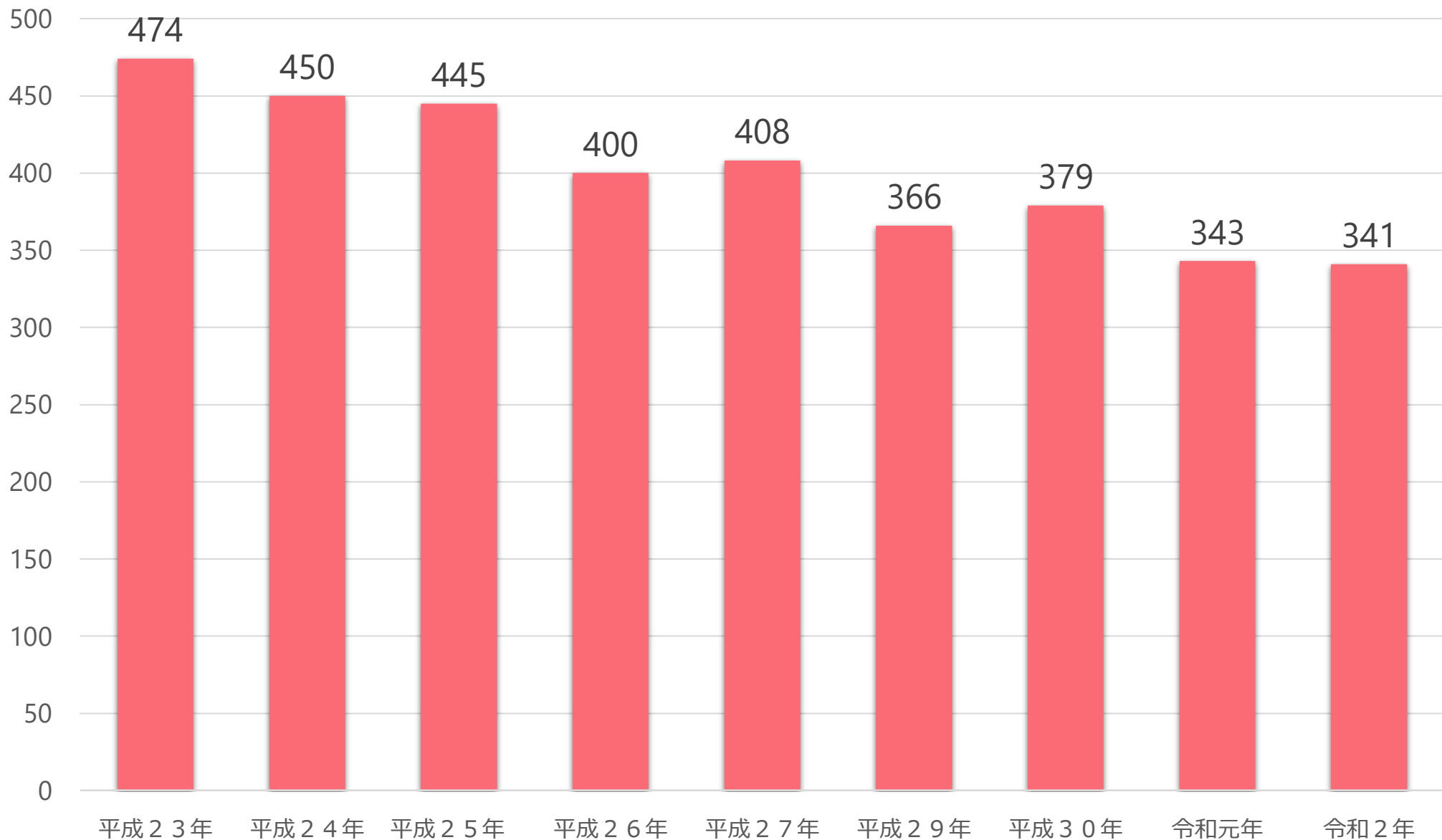
(出典:衛生行政報告例)

年齢階級別就業助産師数（病院・診療所・助産所）（2020年）

病院は、年齢階級の低い就業者が多く、助産所は年齢階級の高い就業者が多い。

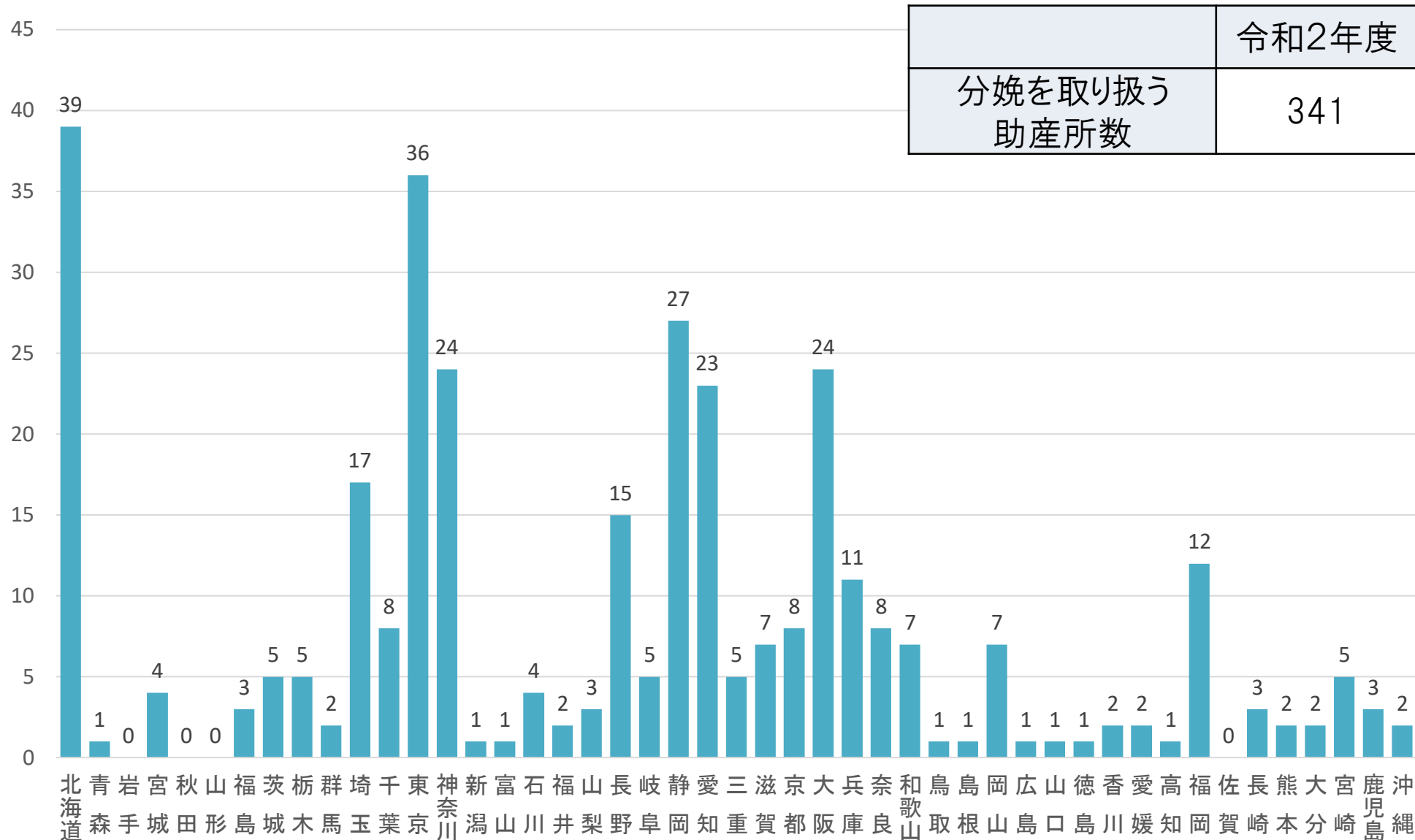


分娩を取り扱う助産所数の推移



【出典】衛生行政報告例（※出張のみの助産所は含まない）27

分娩を取り扱う助産所数（都道府県別）



【出典】衛生行政報告例（※出張のみの助産所は含まない）